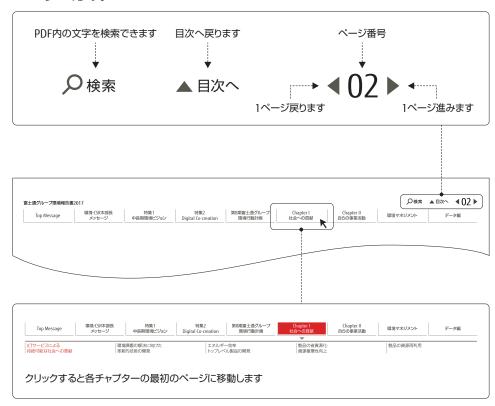
Top Message

環境・CSR本部長 メッセージ 特集1 中長期環境ビジョン 特集2 Digital Co-creation 第8期富士通グループ 環境行動計画 Chapter I 社会への貢献 Chapter II 自らの事業活動

環境マネジメント

データ編

ユーザーガイド



編集方針

「富士通グループ環境報告書2017」では、社会からの期待・要請および富士通グループにおける重要な環境側面を基に策定した「第8期富士通グループ環境行動計画」(2016年度~2018年度)に沿って、環境課題認識と取り組みアプローチ、2016年度の実績と主な活動内容を中心に報告しています。さらに、2017年5月に発表した中長期環境ビジョン「FUJITSU Climate and Energy Vision」についても説明しています。主要なデータに関しては第三者機関による審査を受けたほか、指標に関する第三者所見の掲載などにより、記載内容の信頼性・透明性の向上に努めました。加えて、横型の紙面構成により、パソコンやタブレット端末での読みやすさに配慮しました。

■報告期間

2016年度(2016年4月1日から2017年3月31日)の活動を中心に報告しており、記載しているデータは、その実績値です。ただし、それ以外の期間の内容も一部含みます。

■本報告書の想定読者

特に環境分野に関心が高い、お客様、社員、株主・投資家、お取引先・事業パートナー、国際社会・地域社会、公共機関、行政などのステークホルダーの皆様方および(SR調査機関などの専門家の方々を読者と想定しています。

■報告対象組織

富士通と環境マネジメントシステムを構築している連結 子会社を中心とした合計138社(海外含む)を対象として います。

- ≫ 環境活動に関する報告対象組織の一覧表(P.58参照)
- ≫ 環境パフォーマンスデータ算定基準(P.55参照)

■主な報告範囲の変更

- ●「富士通」から分社化した「富士通クライアントコン ピューティング株式会社」および「富士通コネクテッドテ クノロジーズ」を報告対象に追加しました。
- ●「富士通ワイヤレスシステムズ株式会社(FWL)」の富士 通への一部吸収および「富士通テレコムネットワークス 株式会社」への統合に伴い、報告対象外としました。
- ●「環境活動に関する報告対象組織の一覧表(P.58参照)」の海外グループ会社No.32以降は、第8期環境行動計画からの報告範囲拡大に伴い報告対象に追加しました。

■使用・参考にしたガイドライン

- ●GRI「G4サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン」
- ●環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」
- ●環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」

■発行

2017年8月(次回予定:2018年8月、前回2016年8月)

お問い合わせ先

富士通株式会社 環境·CSR本部 〒105-7123

東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/management/communication/contact/

将来に関する予測・予想・計画について

本報告書には、富士通グループの過去と現在の事実だけではなく、将 来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これら予測・予想・計 画は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であ り、これらには不確実性が含まれています。

したがって、将来の事業活動の結果や将来に惹起する事象が本冊子に記載した予測・予想・計画とは異なったものとなるおそれがありますが、富士通グループは、このような事態への責任を負いません。読者の皆様には、以上をご承知いただくようお願い申し上げます。

「富士通グループ環境報告書2017」の一部または全部を許可なく複写、複製・ 転載することを禁じます。

©2017 FUJITSU LIMITED

ご意見をお聞かせください

本報告書に関する皆様からのご意見を募集しています。お寄せいただいたご意見は統計データとして、さらに良い報告書の作成に活用させていただきます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

WEB http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/management/communication/report/